

### 「学び合いを深める豊かな表現力を目指して」

朝日町立五箇庄小学校

教諭 四杉 貴美

本校は、昨年度から2か年にわたり富山県教育委員会から「とやま型学力向上プログラムの普及・啓発に係る実践研究」の委託を受けました。そこで、「学び合い」と「体験」という二つのキーワードをふまえ、「学び合いを通して人間関係づくりと学力向上を一体的に進める授業」「体験を通して身に付けた知識・技能を活用する授業」に視点を当てた授業改善に取り組んできました。今年度は、特に子ども同士の学び合いがより深まり、豊かな表現力につながるような学習展開に重点を置いて研究を進めました。

豊かな表現力を育成するために、自分の考えをまとめるノート指導について研究内容の一つに掲げて取り組みました。

充実したノート指導を行うために大切にしてきたことは次の3点です。

- ・ 考えをまとめる時間の確保
- ・ 思考の流れが分かるノート指導
- ・ 教師の朱書きによる個への支援や評価

各学年の子どもたちのノートを持ち寄り、教師間でノート指導のポイントを情報交換したり、ノート展示を通して、子どもたちによりよいノートづくりを意識付ける機会を設けたりしました。また、子どもが学習の振り返りとしてノートに書いたまとめを次の学習指導に生かせるよう、朱書きの内容にも工夫を心がけました。

一方で、子どもたちが自分の思いを分かりやすく伝えたり豊かに表現したりする力を高めるために、「みら〜れテレビ」等で活躍中のフリーキャスターの下澤弥生さんを講師として招き、「表現力アップ授業」を行いました。1・2年生では、「北風と太陽」の童話を題材とし、登場人物や場面のイメージを膨らませながら気持ちを込めて音読することの大切さを教えていただきました。3・4年生では、自分のことを紹介する際の



声の調子や話の中心を何にするかなど、相手を意識した伝え方について具体的に手本を示しながら指導していただきました。ここで身に付けた表現力を授業の中はもちろん集会や縦割り活動など様々な場面で生かしてくれることを期待しています。

12月末に子どもたち自身の学びの意欲・思考力等に関する自己評価を行いました。その結果を見ると、「授業は楽しい」「授業が分かったと思う」「考えを発表している」と評価している子どもの割合が昨年度よりも増えてきていることが分かりました。自分の思いや考えをもつ過程を大切にしてきたこと、学習形態を工夫し、小集団を生かした話し合い活動を取り入れてきたことなどが、子どもたちの学びへの意欲を高めたものと思われる。

今年度、「表現力の向上」以外にも様々な視点で研究を進めてきました。一つ一つについて検証を行い、今後の研修につなげていきたいと思えます。